

令和5年度(2023年度)モニタリングシート

千人町 学童保育所 第2クラブ

施設名		千人町 学童保育所 第2クラブ												
視点	評価項目	6月			9月			12月			所管課 期末評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	
		所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)				
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	職員配置(常勤数、非常勤数、加配数)・放課後児童支援員	B	配置職員及び放課後児童支援員は適正に配置されている。	B	支援単位に合った適正配置を行っている。	B	自施設の適正配置を行ったうえで、他施設が配置不足の日には応援職員を派遣した。							
	月報(学童保育状況報告書)・日報(育成日誌兼業務記録)を作成しているか	B	月報、日報は適切に作成している。また、法人独自のモニタリングノートや職員間で情報を共有する連絡ノートを作成し、担当業務の明確化、子ども達の記録の状況を記録することで、全職員、全学童で情報を共有し保育につなげる取組みを行っている。	B	問題なし	B	夜の延長保育担当者が日誌を作成。翌日のミーティング時に内容を確認。							
	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経営がされていること	B	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設し、資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか【銀行口座の通帳の有無・独立した会計帳簿】	B	適正かつ明確化が図られている。	B	問題なし	B	問題なし					
	収支計画が適正であること	B	給与の支出及び収支計画が適正に執行されているか【給与規程・賞金台帳・事業計画書(収支計画)・事業報告書】	B	適正に執行されている。	B	問題なし	B	問題なし					
	管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	B	児童発達、アレルギ対策等の研修や職員倫理をはじめとする資質向上を図るための人材育成研修が行われているか【研修件名・内容】	B	応急救護研修、保育実践研修など法人ブロック内研修、法人全体研修など計画的に実施している。また児童虐待防止研修などを実施している。	B	ブロック別保育実践研修に参加し、気になる子への対応について検討職員研修(倫理、虐待予防)実施	B	応急救護研修に参加し、AEDの使い方などを確認した。					
	施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	B	事業者の経営状況が健全な状態であるか【確認資料例:財務諸表・財務評価表】	B	適正である。	B	問題なし	B	問題なし					
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	入退所等関係書類が滞滞なく処理されているか	B	適切に処理されている。	B	退所が出たことに伴う第一クラブからの転所要件に適切に対応した	B	夏季休業中の長期欠席者への対応(欠席届、免除申請)を適切に行った。							
	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	B	開所日数、開所時間は守られているか【日報、月報、事業報告書】	B	開所日数、開所時間は守られている。	B	問題なし	B	問題なし					
	施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	B	文書の管理・保存が適切に行われているか【ファイル基準表(なければそれに準ずるもの)・実地調査】	B	職員による日常清掃をはじめ各種機器の保守点検が行われている。法人や市からの通知は個別にまとめて壁に見やすく掲出されており、常に最新版に更新されている。	B	文書保存年表に基づき、適切に保管、管理	B	問題なし	B	玄関の鍵に不具合があり、修繕を実施。			
	備品の管理が適切に行われているか	B	備品台帳・実地調査	B	適切に管理されている。	B	問題なし	B	問題なし					
施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか	利用者の満足度3.0【利用者満足度調査】													
	放課後子ども教室運営団体と情報共有が図られ、放課後子ども教室への参加について柔軟に対応されているか	B	児童の情報共有や安全対策を双方で連携・協力して行い、放課後子ども教室開催時には積極的に参加している。	B	放課後子ども教室へは毎日参加し、当番の方や学校と連携を取っている	B	夕焼けチャイムの時間変更に伴う放課後子ども教室の開催時間変更や対応について、事前に確認した。							
	利用者からの苦情処理の体制がとれていること	B	苦情解決の体制(解決責任者の設置・受付担当者の設置)を整備し、利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか【マニュアル・相談、苦情をまとめた整理帳簿】	B	苦情対応の体制を整え、苦情や相談案件についても記録簿を作成しミーティング時に職員間で共有するなど適切な対応がとれている。	B	問題なし	B	問題なし					
	利用者への周知・理解及び支援を深める取り組みを進めているか	B	保護者(会)とのコミュニケーション及び支援を深める取り組みが適切に行われているか【おたより、連絡帳】	B	おたよりやアプリを使い、保護者へ活動内容を定期的に伝えるなど適切に取り組まれている。	B	個人面談を実施。情報交換を行った	B	ドッジボール大会に多くの保護者が応援に来てくださった際には、子ども達の成長を共有し、コミュニケーションを深めた。					
	学童保育所と地域の交流を広げる取組がなされているか	A	学校、地域等の関係機関と連携し、特色ある行事を計画的に実施することで、保育活動の拡充・拡大を図っているか【事業計画書・事業報告書・行事計画書・ヒアリング等】	A	学校への情報提供・共有をはじめ、状況に応じて児童相談所、子ども家庭支援センターとの連携を図っている。地域ボランティアの方の協力をいただき、お話し会やお手玉の会の運営を実施し保育活動の充実を図っている。	A	引き継ぎ、学校への情報提供・共有をはじめ、状況に応じて児童相談所、子ども家庭支援センターとの連携を図っている。法人幹事会としてのフットボール交流大会の実施や、地域ボランティアの方の協力をいただき、お話し会やお手玉の会の運営を実施し保育活動の充実を図っている。	A	夏休みに地域のお弁当屋さんの子リバーランチを実施。昼食提供としても喜ばれた。ドッジボール大会に他業者を招き、交流の機会を設けた。					
行政的な業務の達成に基きつつ、明確に基きつつ、事業が実施されているか	資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	B	「八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム(H-EMS:ヒームス)」に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか【ヒアリング等】	B	節電・節水の呼びかけ、紙の取り組みがなされている。	B	問題なし	B	ヒームスハンドブックを回覧し、各自でできることを再検討した。					
	年間行事が事業計画どおり実施されているか	B	【行事計画書、行事参加者名簿】	B	計画どおり実施されている。	B	問題なし	B	社協学童キャンプ村、ドッジボール大会で他施設との交流を図った。					
	防災訓練等(地震、火災、不審者、交通ルール等)は事業計画どおり実施されているか	B	地震を想定した避難訓練、防災教育など計画的に実施されている。	B	第一クラブと合同で交通安全教室を実施	B	問題なし	B	避難訓練、交通安全教室を計画通りに実施。					
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	個人情報の取り扱いが適切であること	B	個人情報の保管等適切な管理のための必要な措置が講じられているか【保管庫の施錠、マニュアルの整備、情報セキュリティの順守】	B	個人情報取り扱いにおけるマニュアルを整備し、施錠付きの書庫で保管するなど必要な措置が講じられている。	B	個人情報関係書類は鍵のかかる書庫に保管し、二重施錠をしている	B	問題なし					
	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか	B	【保険証券】	B	加入している。	B	問題なし	B	問題なし					
	緊急(防火・防犯等)対応等危機管理体制が取られていること	B	事故や災害発生時の緊急時における初動対応が迅速かつ適切に行われたか。また、適切に行えるよう責任、手順(マニュアル)等を明確にし、体制が整えられているか【マニュアル・事業計画書(事業計画)・事故報告書】	B	万一の事故や災害に備え、適切に対応が出来るようマニュアル類や連絡体制を整えている。	B	不審者対応について、職員ミーティングでマニュアルを使用して確認を行った	B	夏休みを前に熱中症対策について確認。夏休みの遠足の際には保護者にも冷却タオルなどの準備などの協力を仰いだ。					
		B	事故報告等の収集した事例について、職員の参画のもと発生原因を分析し、改善策・再発防止策を検討実施する等の取組が行われているか【マニュアル・事業計画書(事業計画)・事故報告書】	B	事故案件や事故事例を基に発生原因の検証や、対応策について職員間で話し合いを行っている。また事故を未然に防ぐため、ミーティング時は職員間で安全対策・再発防止に向けた意識啓発に取り組んでいる。	B	子どもが怪我をした際には原因を分析し、再発防止に努め、即時に事故報告書を作成した。	B	安全対策委員会取りまとめ「ヒヤリハットまとめ4〜6月」を回覧し事故防止に役立てた。					

期末総合評価	
所管課コメント	